

海に転落した釣り客を救助

～人命救助の功績により表彰～



表彰を受けた竹田舜介さん（左）と入船誠さん

海に転落し、おぼれていた釣り客を救助したとして、長浜高等学校の生徒2人と新居浜市の会社員、河内崇裕さん(29歳)が大洲地区広域消防事務組合から表彰されました。

同校生徒2人には、昨年12月7日(金)の全校朝礼で表彰式を実施。表彰を受けたのは、1年の竹田舜介さん(16歳)と入船誠さん(15歳)。また河内さんには、直接表彰状などが届けられました。同事務組合によると、11月17日午後5時20分ごろ、長浜町晴海地区の長浜港内で、釣りをしていた男性(50歳)が海に転落したのを同じく近くで釣りをしていた竹田さんが気付いて、友人の入船さんや周囲にいた河内さんに助けを求めるとともに、自ら海に飛び込み男性を確保。3人で協力し、男性を栈橋上に引き上げ、さらに河内さんが119番通報し、救急隊が到着するまで応急手当を実施したというもの。事務組合の山田一昭消防長から表彰状と記念品を受け取った生徒2人は、「助けるときは夢中だった。落ちた人が助かったので本当によかった」と当時の状況を振り返っていました。



▲大臣表彰を受賞したポスター（上）と井上侑香さん（左）

大臣表彰に井上侑香さん （喜多小学校） 〜明るい選挙啓発 ポスターコンクール〜

平成19年度明るい選挙啓発ポスターコンクール(財団法人明るい選挙推進協議会など主催)において、大洲市立喜多小学校の井上侑香さん(5年)が、最高賞の文部科学大臣・総務大臣表彰に輝きました。

このコンクールには、全国から約13万4000点(小学校からは約7万点)の応募があり、その中から小学校各学年より1点ずつ大臣表彰が選ばれたものです。井上さんのポスターは、投票箱を大きく下に描くことにより、人物の動きや広がりバランスよく



押さえ、まとまりのよい構図になっているほか、配色が豊かで見る人を明るい気持ちにしてくれる点が評価されました。今回の受賞について井上さんは、「賞をもらえるなど夢にも思わなかった。とにかくうれしいです」と語っていました。

「扇面の美展」

雨子のふるさと高島市で

滋賀県高島市で開催された「扇面の美展」に、大洲扇面の美展を開催している山荘画廊から73点の作品を応募しました。その結果、次の方々が入賞し、昨年12月16日(日)に高島市で開催された表彰式において表彰されました。(敬称略)

【扇面の美大賞(夏扇子)】
梶原八千代(宇和島市)

【準扇面の美大賞(鴨川扇子)】
上甲 哲子(八幡浜市)

【湖西水墨画会長賞】
大本 登(西予市)

【特選】

橋本千恵子(大洲市)

中田 啓子(大洲市)

井上 恒代(大洲市)

【佳作】

堀田 道子(大洲市)

垣内 陽子(西予市)

井上 高明(大洲市)

澤山 繁子(大洲市)

稲垣 章(西予市)

青野 通子(今治市)

矢野 一長(大洲市)

汐崎 壬子(今治市)

稲多真千子(伊予市)

岩本 政光(大洲市)

清水喜美子(八幡浜市)

お知らせ

こんにちは市長です
No. 7



どの情報が本物？ 真実を伝えたい。

新年明けましておめでとうございます。年末年始、特に家庭の主役はテレビだったと思います。ところが3年半後にはこのテレビがデジタル化され今のままで映らなくなりそうです。中山間地の難視聴地区をどうしていくか、何をさて置いて早く手を打たねばならないテーマの一つです。

また、市議会は今どう取り組みをし、どんな過程を経て意志決定され、税金はどう使われていくのか？深い関心を持って見守っていただきたいと考えています。新聞記事だけでの情報源では十分に情報が伝わっておりません。そこで本市ではCATVの普及を急ぎたいと考えています。現在、光ケーブルの使用貸与なども含め積極的に支援中です。県内でも既に全世帯を網羅した自治体もあります。災害時情報を一番に、市議会中継もリアルタイムで全家

庭へ配信し、インターネットで情報交換が出来るように一日も早く持っていきたいと考えています。

その強い思いが私の12月定例議会での「県内に新聞が2紙あった当時は懐かしい」という答弁になり「市民に対しより公平な情報により速く伝達するため、CATVの普及に努めたい」という表現になったものです。議員さんの質問の中にも「愛媛新聞も、もう少し大洲の明るいニュースも載せてはどうか？」と率直な提言をされておられました。正に当を得ていると心中拍手を送ったのは私一人ではなかったはずで、引き続き今年（年男です）も新市建設に向けて愚直に頑張っていく覚悟です。

皆様のご意見も是非お聞かせ下さい。

大洲市長 大森 隆雄

ありがとうございます AEDを 小中学校へ寄贈

児童生徒の安全確保に役立ててもらおうと、このたび戎正さん（長浜町沖浦）が市内の小中学校3校へAED（自動体外式除細動器）を寄贈され、昨年11月26日（月）、叶本教育長より感謝状が贈られました。

戎さんは、「実際は使用してほしくないが、一つあれば安心できるものであるので、安全確保に役立てていただきたい」と述べられました。

このAEDは、豊茂・長浜小学校および長浜中学校に配備されます。



▲AEDを寄贈された戎 正さん（左）

第47回 大洲市駅伝大会

第47回大洲市駅伝大会が昨年12月1日（土）、市役所立体駐車場前を出発地点に開催されました。

当日は天候にも恵まれ、中学生から社会人までの59チーム、616人のランナーが、沿道からたくさんの声援を受けながら、健脚を競い合い、さわやかな汗を流しました。主な成績は次のとおりです。

中学男子の部

- 優勝 新谷中学校 A
（1時間44分23秒・大会新記録）
- 準優勝 長浜中学校 A
（1時間44分25秒・大会新記録）
- 第3位 平野中学校 A
- 第4位 大洲南中学校 A
- 第5位 大洲北中学校選抜
- 第6位 肱東中学校 A

中学女子の部

- 優勝 平野中学校 A
- 準優勝 新谷中学校 A
- 第3位 肱東中学校 A
- 第4位 大洲北中学校選抜
- 第5位 長浜中学校 A
- 第6位 大洲南中学校 A

一般男子の部

- 優勝 平公民館
- 準優勝 三善公民館

高校2部

- 第3位 新谷公民館
- 第4位 平野PTA
- 第5位 りゅうじんA
- 第6位 愛媛舗道

高校2部

- 優勝 長浜高校



まちのわだい



▲力いっぱいうちわをあおぎ、電気をおこす児童たち（大洲小学校）

11/30
(金)

エネルギー問題に関心を

～新エネルギー教室～

次世代を担う小学生を対象に、地球温暖化などの問題から新しいエネルギーの必要性和理解を深めてもらおうと、大洲小学校と新谷小学校で新エネルギー教室が開催されました。この教室は、資源エネルギー庁などが主催したもので、児童らは、なぜ新しいエネルギーが大切かなどを講師の話や映像で学んだ後、実際に風車の羽根を製作し、電気をおこす実験をしました。各班対抗で3分間うちわをあおぎ、ミニカーに蓄電し、走行距離を競い合いました。児童の一人は、「班のみんなが全力で協力してあおいでも、走行距離は10mぐらいだった。電気は大切なものだということが分かり、これからは無駄な使い方はやめようと思った」と語っていました。



▲大きなきねを握り、懸命にもちをつく児童

12/2
(日)

地域とのふれあいを

～もちつき交流会～

正月を前に正山小学校で、もちつき交流会が開催されました。これは、6年前「正山おやじの会」が発足したのと同時に、地区の幼稚園児や児童たちに、泥や汗にまみれる農作業体験を通して、豊かな人間性を養ってもらおうと続けているもので、春の田植えから稲刈り、脱穀まで、一貫して米作りに励んでいるものです。

当日は、児童らが地域住民の指導を受け、うすときねでもちをつき、つきたてのもちをおいしそうにほお張りながら地域の人たちと交流を深めていました。



▲熱心な討議がなされたフォーラム

12/8
(土)

安全な肱川流域を目指して

～肱川流域住民ネットフォーラム～

肱川流域の環境・文化を考慮し、肱川河川整備計画に基づいた安全で安心できる流域をつくるため、住民と行政が意見交換を行い、より一層の合意形成に努めようと、大洲市総合福祉センターで流域住民ら約300人が集まり、肱川流域住民ネットフォーラムが開催されました。講演会では、愛媛大学・矢田部龍一教授が防災（治水）に関する話題を報告。自然災害に備える社会基盤整備が重要であることを力説。肱川の日の制定なども提案されていました。

続いて行われたフォーラムでは、矢田部教授をコーディネーターに、大森隆雄市長をはじめ行政や経済界、住民の代表などパネリスト8人がそれぞれの立場で、肱川の治水について意見交換されました。その中で、大森市長は、「就任後、治水・ダム関係の予算が現実的につくようになった。行政のトップとしてより一層治水対策を推進したい」と述べていました。

最後には、同ネットワークの高畑道明会長がフォーラム宣言を発表し終了しました。

まちのわだい



▲多くの来場者を楽しませた光のイルミネーション

12/9
(日)

夜空に輝く光のオブジェ

～第1回豊茂イルミテヤ祭り～

夜空に浮かぶ5万個の電球でつくる数々のイルミネーションと手作りのイベントをあわせて楽しんでもらおうと、豊茂地区で、第1回豊茂イルミテヤ祭り（同実行委員会主催）が開催されました。

このイルミネーションは、約10年前、寒い夜空に灯りをともし、地域住民や子どもたちに癒しと元気を感じてもらおうと、地域の地域づくりグループが始めたもので、5年前からは豊茂イルミテヤとしてボランティアとともに地区の中心通り一円に拡大、年々規模を

拡大してきたものです。今回、もっと多くの人楽しんでもらおうと、地区をあげての開催となったものです。

当日は、非常に寒い中にもかかわらず、家族づれなど約500人が来場し、幻想的な光のオブジェの中での散策を楽しむとともに、ボランティアグループによるミニコンサートや甘酒、綿菓子などの無料おもてなしも受けていました。



▲うまくつけるかな

12/12
(水)

きねをふりあげて

～おもちつき～

河辺基幹集落センターで、ふれあい教室が開催され、河辺幼稚園児と入園前の子どもらでつくるなかよし会のメンバーらがもちつきを行いました。家庭でもあまり見られなくなった、きねつきとあって、子どもたちも興味津々。自分の体より大きいくらいのきねをふりあげて、もちと格闘する姿に、周囲からは「頑張れ！」の声援が絶えませんでした。



▲清掃活動に精を出す参加者ら

12/15
(土)

年末年始を気持ちよく

～年末恒例清掃～

年末年始の帰省客に気持ちよくふるさと大洲に帰って来てもらおうと、大洲道路を中心とした東大洲地区で、年末恒例清掃が実施されました。これは肱川流域会議水中めがねが主催したもので、当日は関係者ら約100人が参加。それぞれごみ袋と火ばさみを手に持ち、大洲道路高架下や野田川など4班に分かれて作業をしました。参加者らは、投げ捨てられたペットボトルや空き缶などのごみを熱心に拾っていました。

約2時間の活動で、2トントラック3台分のごみが回収され、大洲市街地の玄関口としてふさわしい場所になりました。



▲いちご狩りを楽しむ園児たち

12/20
(木)

あまいいちごはいかが!

～いちご園オープン～

J A愛媛たいき観光いちご研究会の徳田いちご園と川本いちご園のうち、東若宮の徳田いちご園が、クリスマスを前にオープンしました。「紅ほっぺ」と「さがほのか」の二つの品種のうち、この日入ったビニールハウスには、大粒で酸味と甘味のバランスが良い「さがほのか」が栽培されており、中に入ると暖かい空気とともに、いちごの甘い香りが漂っていました。オープンに招待された肱北保育所の園児35人は元気いっぱい大はしゃぎ。真っ赤に実った大きないちごをおいしそうに頬張っては、保育士の構えるカメラそっちのけで、広々とした園路を走りまわっていました。この園内は、車椅子やベビーカーでも入園でき、5月下旬まで楽しむことができます。

■問い合わせ先

徳田いちご園（東若宮） ☎ (090) 4335-2925、川本いちご園（菅田町成見） ☎ (090) 3784-0150

■いずれも駐車場有り・トイレ完備